

## 全国学力・学習状況調査の結果および考察

### <国語A：主として知識>

《結果の概要》	
○平均正答率は全国平均を少し上回る結果が出ています。	
○意見の相違点を整理して書くことや言語事項など、授業の中で学んだことはよくできています。	
○漢字の読みや語句の選択で、生活に密接にかかわりのない語や抽象的な語については、身につけていないものがあると考えられます。	
○全体的に文脈の中における語句の意味を理解することができています。	

《成果のあった問題》	8-5(1) 「歴史的かなづかい」を現代かなづかいに直す。 →まうけて			
	学校の平均正答率	93.9%	全国の平均正答率	80.3%
	無解答率	5.0%	全国の無解答率	7.0%
	6-1 「二人の意見を聞いて 意見の相違点」を整理する。			
《成果のあった問題》	学校の平均正答率	59.4%	全国の平均正答率	54.3%
	無解答率	6.1%	全国の無解答率	5.9%

《課題のあった問題》	8-2(1) 「漢字の読み」 →稚魚			
	学校の平均正答率	63.9%	全国の平均正答率	77.0%
	無解答率	5.0%	全国の無解答率	7.7%
	8-3(ウ) 適切な語句の選択 →伝統的な文化を継承			
《課題のあった問題》	学校の平均正答率	68.3%	全国の平均正答率	80.8%
	無解答率	0.6%	全国の無解答率	0.8%

《今後の改善方向・取組み》	
○聞き手や読み手の立場に立ち、表現の仕方を考える取組みを継続します。	
○説明的文章では、全体から部分を見ていく練習を重ねることによって、要点を素早くつかみ内容の理解を高めることに成果が表れているため、今後も継続して指導していきます。	
○身近な生活の中で使うことの少ない言葉や漢字も身につけていけるよう、読書活動を奨励することによって語彙を増やすきっかけをつくり、反復練習を重ねていく指導を工夫します。	

## <国語B：主として活用>

《結果の概要》	
<p>○全9問中7問が全国平均を上回る結果を出していて、おおむね良好です。</p> <p>○落語など人物の姿や気持ちを想像して「考える→書くこと」は比較的できています。</p> <p>○説明的な文章では全体を大づかみして、部分を細かく丁寧に見ていくことに関して、日頃の授業でも取り組んでいます。また、必要などころを適切に情報としてつかみきれいていません。正解には至っていないが、何か書こうと前向きに取り組もうとしている生徒が多い。</p>	

《成果のあった問題》	3-2 「殿さまの言葉が表す殿さまの姿」として適切なものを選択する。			
	学校の平均正答率	72.2%	全国の平均正答率	67.2%
	無解答率	0.6%	全国の無解答率	0.8%
	3-3 「落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのか」を本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く。			
	学校の平均正答率	50.0%	全国の平均正答率	46.5%
	無解答率	5.6%	全国の無解答率	8.6%

《課題のあった問題》	2-3 「水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる」理由を書く。			
	学校の平均正答率	17.8%	全国の平均正答率	28.4%
	無解答率	15.0%	全国の無解答率	16.6%
	1-3 「ノートを基に標語から伝わってくる<メッセージ>とく表現の工夫とその効果」を書く。			
	学校の平均正答率	48.9%	全国の平均正答率	48.2%
	無解答率	3.9%	全国の無解答率	3.4%

《今後の改善方向・取組み》	
<p>○しっかり聞き取り、筋道を立てて考えられる力を高められるような日頃の取組みを充実させます。</p> <p>○文章の根拠となる理由をはっきりさせ、筋道を立てた文章が書けるよう指導を充実させていただきます。</p> <p>○何を答えないといけないのか、条件として求められていること、足りないものなどに気付かせ、よりよい文章に書き上げていく指導を今後も継続していきます。</p> <p>○表現の効果や特徴にも目を向け、日常的に文章を書き、発表して高めあっていく取組みを続けていきます。</p>	

## <数学A：主として知識>

### 《結果の概要》(例)

- 全国平均と比べ、全体的に正答率が高く、無解答率が低くなっています。
- 「数学的な技能」の観点において、特に良好な結果が見られました。
- 文章を読んで不等式に表すことや、関数・確率・中央値の意味の理解等において課題が見られました。
- 選択式で解答する問題よりも、短答式で解答する問題の方が正答率が高く、全国平均と比べても高い結果が出ています。

《成果のあった問題》	3(2) 分数を含む一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く。			
	学校の平均正答率	71.3%	全国の平均正答率	59.5%
	無解答率	7.7%	全国の無解答率	12.4%
	10(1) $x=2$ 、 $y=6$ の比例の式を求める。			
《課題のあった問題》	学校の平均正答率	71.3%	全国の平均正答率	56.7%
	無解答率	11.0%	全国の無解答率	13.0%

《課題のあった問題》	2(1) 「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を導く。			
	学校の平均正答率	37.6%	全国の平均正答率	45.2%
	無解答率	13.8%	全国の無解答率	11.1%
	11(1) 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。			
《課題のあった問題》	学校の平均正答率	39.8%	全国の平均正答率	47.3%
	無解答率	1.1%	全国の無回答率	1.8%

### 《今後の改善方向・取組み》

- 数学用語の意味をしっかりと理解させること、文章をしっかりと読み解く活動を取り入れていき、筋道立てた考えができるような指導に取り組めます。
- 計算力についても、小テストや反復練習等を通して、基礎計算力を定着させる指導に取り組めます。
- 日頃の授業やテストにおいて、計算の過程を正確に書く力や文章を記述して答える力がつくような指導に取り組めます。

## <数学B：主として活用>

《結果の概要》	
○数学 A と同様、全国平均と比べ、全体的に正答率が高く、無解答率が低くなっています。	
○「数と式」「図形」の領域の問題において、全国平均よりも正答率が高く、良好な結果が出ています。	
○問題形式では、記述式で解答する問題において、全国平均よりも正答率が高く、良好な結果が出ています。	
○図や表、グラフを正確に読み取る力において、課題があります。	

《成果のあった問題》	2(3) 2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する。			
	学校の平均正答率	56.0%	全国の平均正答率	44.2%
	無解答率	4.4%	全国の無解答率	6.3%
	4(1) 2つの線分の長さが等しいことを証明する。			
《成果のあった問題》	学校の平均正答率	48.4%	全国の平均正答率	39.4%
	無解答率	13.7%	全国の無解答率	22.5%

《課題のあった問題》	1(1) 案内図をもとに、経路を示す貼り紙を選ぶ。			
	学校の平均正答率	76.4%	全国の平均正答率	77.0%
	無解答率	0.0%	全国の無解答率	0.3%
	3(1) 与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める。			
《課題のあった問題》	学校の平均正答率	84.6%	全国の平均正答率	87.5%
	無解答率	7.7%	全国の無解答率	5.8%

《今後の改善方向・取組み》	
○図や表・グラフを見て考える問題に課題があるため、授業やテストにおいてもそういった問題や活動を取り入れ、出題の内容を読み取る力を養う指導に努めます。	
○「数と式」「図形」の領域と、記述式の解答において良好な結果が見られたので、より伸ばしていけるように、教材の工夫等に取り組んでいきます。	
○唯一「数量や図形などについての知識・理解」から出題された問題において、正答率が全国平均を下回っているため、問題文や表の中から必要な情報を適切に読み取る力をつける指導に努めます。	

## 【生徒質問紙による学習状況調査の結果から】

### ○調査結果の全体の傾向

本年度の調査では、「規範意識」に関する項目については全国平均を上回る結果となりましたが、「生活習慣」「自尊感情」などに関する項目については全国平均より少し低い結果となりました。その中でも、特に気になる本校生の特徴としては、「テレビ・ラジオ・DVDを視聴する時間」が長いこと、「携帯電話・スマホの使用時間」についても全国平均に比べて長いことです。このことが原因となり、「土曜や日曜など学校が休みの日に家庭での学習時間が十分に確保できず、予習や復習をほとんどしない状態で授業を受けている生徒が多い」という結果につながっていると考えられます。

全国平均を上回る「規範意識」に関する項目については、「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」「イジメはどんな理由があってもいけない」など、昨年度の本校の結果よりもさらに数値が高くなっています。

国語、数学に関する質問では、昨年度の本校の調査結果と比較すると、「国語への関心等・数学への関心等」が高くなってきており、「授業づくり」への取り組みの成果であると考えています。

○全国と比較して、本校の生徒の特徴として注目した項目について、その状況をお知らせいたします。

《(全国を上回る) 本校生徒の良さ》		《課題として受け止めている事項》	
①	親に、学校でのことをよく話しています。	①	日々の就寝・起床時間が一定ではなく、生活リズムが安定していません。
②	友達と協力して、達成感を感じている生徒が多いです。	②	土曜・日曜に家庭で全く勉強をしていない生徒が多いです。
③	イジメはどんな理由があったにせよ、あってはならないことだと答えています。	③	感想文を書くこと・他人に自分の考えを説明することや文章に書きとめることが苦手です。
④	人の役に立つ人間になりたいと感じています。	④	平日、1日あたり3時間以上、テレビ・ビデオ・DVDを見ている生徒が多いです。
⑤	人の気持ちが分かる人間になりたいと感じています。	⑤	平日、1日あたり4時間以上、携帯・スマホ・インターネットを使っている生徒が多いです。

## 〈考察〉

- 1) 昨年度に続いて、全国平均と比べても「規範意識」が高いことが本校生の特徴です。「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」などの項目に高い数値が出ており、クラス内では学級委員や班長に積極的に立候補するなど、「クラスのため」「学年のため」に何かを成し遂げたいという気持ちが、前面に現れている生徒が多いです。
- 2) 学習塾等に通っている生徒の割合が全国平均と比べて高く、家庭で学校の予習復習や宿題等をしている時間が十分にとれていません。家庭学習の時間の確保が課題です。
- 3) 一日あたりの「テレビ・ビデオ・DVD」の視聴及びゲームをしている時間、「携帯電話・スマホ」でのメールや通話時間などが、全国平均に比べて長くなっています。このことは、家庭での学習時間の短さや「ライン・ツイッター」などでのトラブルの原因となっています。テレビ・ビデオ・DVD・携帯電話・スマホ等の使用については、各家庭で話題に取り入れていただけたらと思います。
- 4) 「国語への関心等・数学への関心等」について、昨年度の本校の調査結果と比較すると、教科に対する興味・関心が高まってきています。これは、生徒と教師の関係が良好であること、生徒が積極的に日々の授業に取り組んでいること、教員の「授業づくり」に関する研究等の成果が徐々にあらわれてきていることを意味しています。しかし、数値的には全国平均を下回っているため、今後もさらに教科指導方法の研究を進め、生徒がより一層興味・関心を持つ授業づくりに専念していきます。

## 〈調査結果を受けて〉

### ◎学校が重点的に取り組んでいくこと

#### 【国語科】

- ・学習指導要領に挙げられている「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの評価観点を、より一層意識した授業づくりに取り組み、基礎学力の向上をめざします。
- ・「班活動」で論議の経験を重ねることによって「話す・聞く能力」を高めます。また、「朝の読書タイム」で「読む能力」の向上に継続的に取り組んでいきます。
- ・作文指導等を通して「書く能力」や「考える力」を養います。

#### 【数学科】

- ・グラフ、文章、図、表などを扱った問題に取り組み、必要な情報を的確に読み取り、活用する力を伸ばすことに努めます。
- ・小テスト、反復練習を積極的に行い、基礎学力の定着を図ります。
- ・暗記だけで答えを出すのではなく、考える力を育てるための工夫をします。

#### 【生活面において】

- ・「携帯電話、スマホ」でのトラブル未然防止のために、生徒対象の講習会を行うなど事前指導をさらに充実させます。
- ・家庭学習の定着を図るため、本校作成の「学習のてびき」を有効に活用します。さらに、課題の量や内容を工夫することにより、家庭学習習慣の定着をめざします。
- ・道徳授業の内容を充実させること、さらに教育活動全般を通じた生徒とのかかわりの中で、本校生の良い点である「規範意識」をより一層高めていきます。

### ◎生徒のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

#### 【国語科】

- ・語彙の習得や漢字練習など繰り返しや積み重ねの必要なことに、積極的に取り組んでください。
- ・読書により、言葉に触れる時間を増やし、想像したり考えたりする時間を増やしてください。
- ・国語は「言葉の学習」であることを意識してください。

#### 【数学科】

- ・グラフ、文章、図、表などに関する問題に日頃から取り組み、記述式の解答にも積極的に答えてください。
- ・計算においては良い結果が見られたので、これからも継続して根気強く学習に取り組んでください。
- ・家庭学習で、予習復習、自主学習などに取り組み授業に備えてください。

#### 【生活面において】

- ・夜更かしせず、「就寝起床時間」を安定させて、生活リズムを整えてください。
- ・「携帯電話・スマホ」を使う場合は、節度のある使い方を心掛けてください。
- ・「将来の夢」や「目標」を持ち、失敗を恐れない心を大切にしてください。

### ◎保護者のみなさまに協力していただきたいこと

#### 【生活面について】

- ・スマホやパソコンなどの利用時間が増加していることで、生徒たちは生の言葉や会話に向かい合うことが少なくなっているようです。自分の意図する内容が正しく相手に伝わるように、言葉づかいや表現など、家庭での言語環境を整えることにご協力ください。
- ・携帯電話やスマホを持たせる場合は、必ず各家庭で使用する上でのルール決めを行い、保護者の責任のもとしっかり管理し、確実に使用状況を把握して下さい。
- ・各家庭での「テレビ・ビデオ・DVD」の視聴時間を決めるなど、家庭での学習時間を確保できるようご協力ください。

## 本校の学力向上に関する取組み



夏休みには、全学年が補充授業を実施し、基礎学力の定着と向上に取り組んでいます。地域の大学生も授業に参加し、学習支援に協力してくれています。



体育大会に向けての縦割り練習では、3年生がリーダーシップを発揮し、1・2年生をまとめます。このような活動を通して規範意識が培われています。



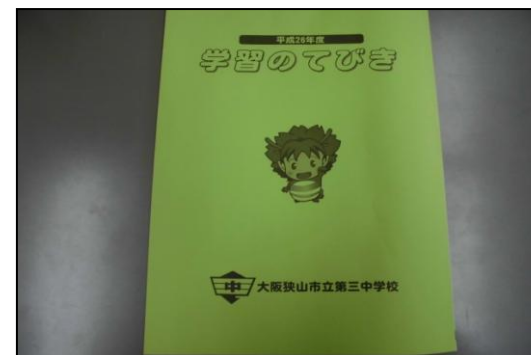
首席の模範授業のあと、参加者で研究討議を実施します。授業づくりに関する積極的な意見が交わされ市教育委員会の指導主事からも助言をいただき研究を深めています。



授業の中では、単元や内容によって大型液晶テレビなどの ICT 機器を活用しています。市の学校づくり応援事業を受け、学識経験者による具体的な助言を頂き、学校力の向上を図っています。



1年生の数学科では、生徒個々に応じた学習指導に取り組み、きめ細かな指導を实践するため習熟度別の授業を展開しています。



教科ごとの学習に関する「学習の手引き」を入学時に全員に配布しています。家庭での学習の仕方や授業の受け方、学力向上についてアドバイスしています。